

高速道路のあり方検討有識者委員会 説明資料

平成23年7月14日

社団法人 **日本観光振興協会**
JAPAN TRAVEL AND TOURISM ASSOCIATION

I (社) 日本観光振興協会の会員構成

●支部別会員数

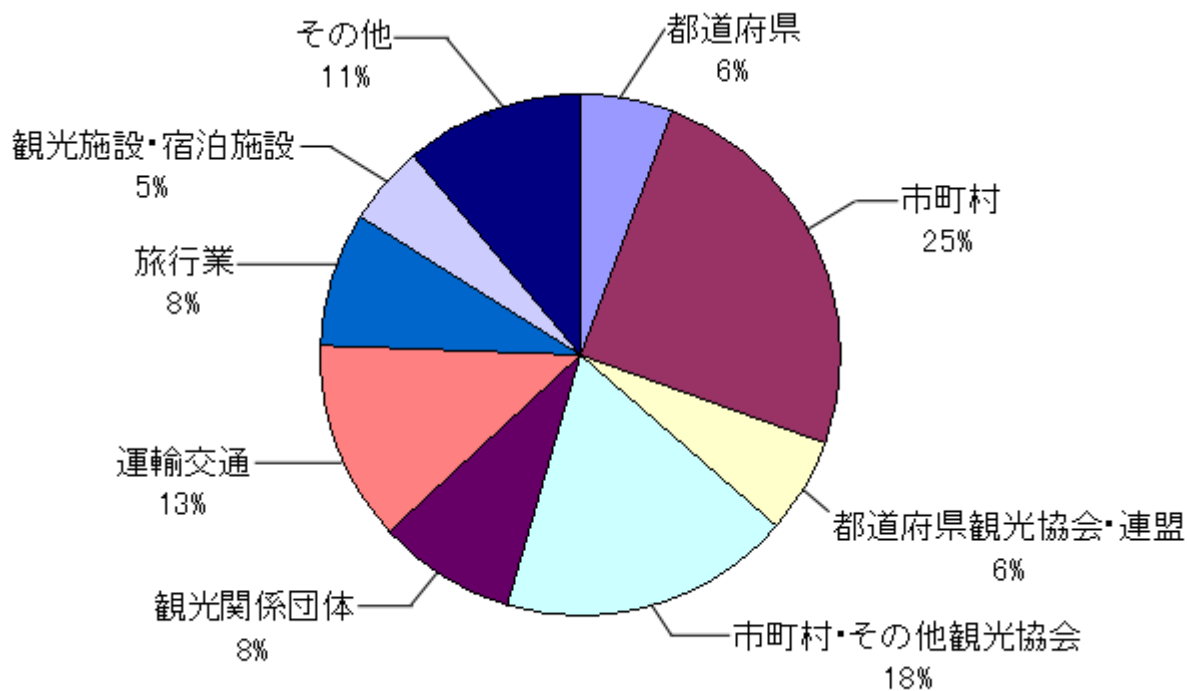
支部名	会員数
北海道支部	76
東北支部	61
関東支部	281
中部支部	93
関西支部	87
中国支部	58
四国支部	38
九州支部	98
会員総数	792

●業種別会員数

業種別	会員数
都道府県	47
市町村	195
都道府県観光協会・連盟	47
市町村・その他観光協会	143
観光関係団体	66
運輸交通	100
旅行業	65
観光施設・宿泊施設	38
その他	91
会員総数	792

(平成 23 年 7 月 1 日現在)

●業種別会員割合



II 国内宿泊観光旅行の実態と志向

(平成22年度版「観光の実態と志向」(社)日本観光振興協会より)

1. 過去1年間の実態 — 宿泊観光旅行

項目	平成21年度 (1,000円高速 導入後) 宿泊観光旅行の実態	平成20年度 (1,000円高速 導入前) 宿泊観光旅行の実態
1)参加率	49.8%	50.4%
2)参加回数 全体平均 参加者平均	1.08回 2.17回	1.10回 2.18回
3)実施月	8月が16.9%でピーク	8月が15.2%でピーク
4)目的地	県内 13.6% 県外 83.3%	
5)出発した日	平日 33.3% 土・日・祝 29.8%	土・日・祝 31.9% 平日 31.3%
6)主な目的	①慰安旅行 36.8% ②見物・行楽 30.6% ③スポーツ活動 9.3%	①見物・行楽 33.7% ②慰安旅行 33.5% ③スポーツ活動 10.1%
7)行動 (複数回答)	①温泉浴 45.5% ②自然の風景を見る 45.2% ③名所・旧跡を見る 32.7%	①温泉浴 48.2% ②自然の風景を見る 43.9% ③名所・旧跡を見る 33.4%
8)主な行動	①温泉浴 22.5% ②名所・旧跡を見る 12.9% ③レジャーランド・テーマパーク 9.2%	①温泉浴 23.1% ②名所・旧跡を見る 11.8% ③自然の風景を見る 9.5%
9)同行者	①家族 46.0% ②友人・知人 24.9% ③家族と友人・知人 12.5%	①家族 46.9% ②友人・知人 20.4% ③家族と友人・知人 12.3%
10)同行人数	①2~3人 36.0% ②4~5人 26.3%	①2~3人 34.7% ②4~5人 26.7%
11)利用交通機関 (複数回答)	①自家用車 54.9% ②JR鉄道 21.1% ③貸切バス 17.4% ④飛行機 10.2% ⑤私鉄 9.8%	①自家用車 50.0% ②JR鉄道 22.1% ③貸切バス 20.6% ④飛行機 11.6% ⑤私鉄 10.9%
12)宿泊施設	①ホテル 46.4% ②旅館 30.6%	①ホテル 44.5% ②旅館 32.0%
13)宿泊数	平均 1.56泊	平均 1.54泊
14)旅行費用		
総費用	37,110円	40,370円
宿泊費	14,240円	15,650円
交通費	9,740円	11,070円
土産の費用	5,100円	5,110円
観光行動費	8,090円	8,400円
	注)旅行会社の募集団体 及び「職場、学校」 「地域宗教」の団体 を除く	注)旅行会社の募集団体 及び「職場、学校」 「地域宗教」の団体 を除く

2. 今後1年間の宿泊観光旅行の希望

1)参加希望率	77.2%	
2)参加希望回数	2.18回	
3)希望季節	秋 35.0%、	春 19.8%
4)希望宿泊数	2.05泊	
5)希望費用	総費用	35,750円
	1人当り宿泊費	11,340円
6)希望する旅行の種類	①温泉観光	70.8%
	②リゾートライフを楽しむ観光	25.6%
	③祭りや観光イベント	25.5%
	④ドライブ観光	24.0%
	⑤寺社観光	21.1%

3. 宿泊観光旅行の目的地（現住所地域別）

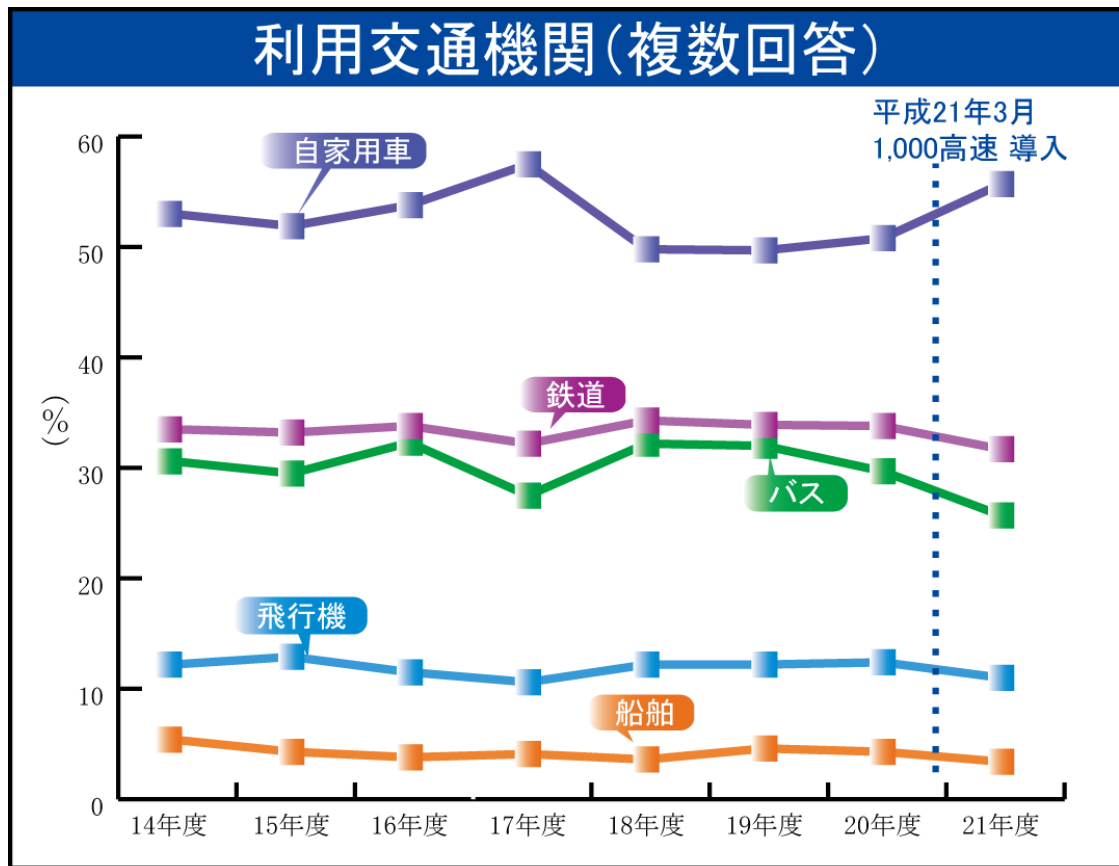


宿泊観光に出かけた目的地は、居住都道府県外が83.3%、県内が13.6%で、県外が大勢を占めている。

目的地 居住地	北海道	東北	関東	甲信越	中部	関西	中国	四国	九州
(計)	5.3	9.4	23.5	12.1	15.0	14.0	4.4	2.7	10.3
北海道	75.4	5.1	5.1	1.7	-	1.7	-	-	1.7
東北	2.2	58.9	22.8	3.1	4.0	3.6	1.3	-	1.8
関東	3.1	8.7	37.0	17.7	16.1	7.0	1.3	0.9	5.1
甲信越	0.7	18.5	24.5	28.5	11.9	6.0	1.3	1.3	4.0
中部	1.7	2.4	16.8	13.3	33.4	22.5	2.8	2.4	3.3
関西	3.7	2.3	10.6	8.5	15.8	33.0	7.4	6.2	9.4
中国	3.4	1.1	10.6	1.7	4.5	22.3	27.4	4.5	16.2
四国	2.5	1.3	13.8	3.8	6.3	18.8	17.5	22.5	13.8
九州	2.0	2.8	10.4	0.8	3.2	7.6	4.4	2.0	65.1

現住所地域と目的地地域の相関をみると、すべての地域で同一地域へ向かう比率が最も多い。中でも、北海道（75.4%）、東北（58.9%）、九州（65.1%）で同一地域内への旅行の比率が高くなっている。また、同一地域以外では、東北が関東（22.8%）へ、甲信越が関東（24.5%）へ、中部が関西（22.5%）へ、中国が関西（22.3%）へ向かうケースが比較的多くなっている。

4. 宿泊観光旅行の利用交通機関（複数回答）

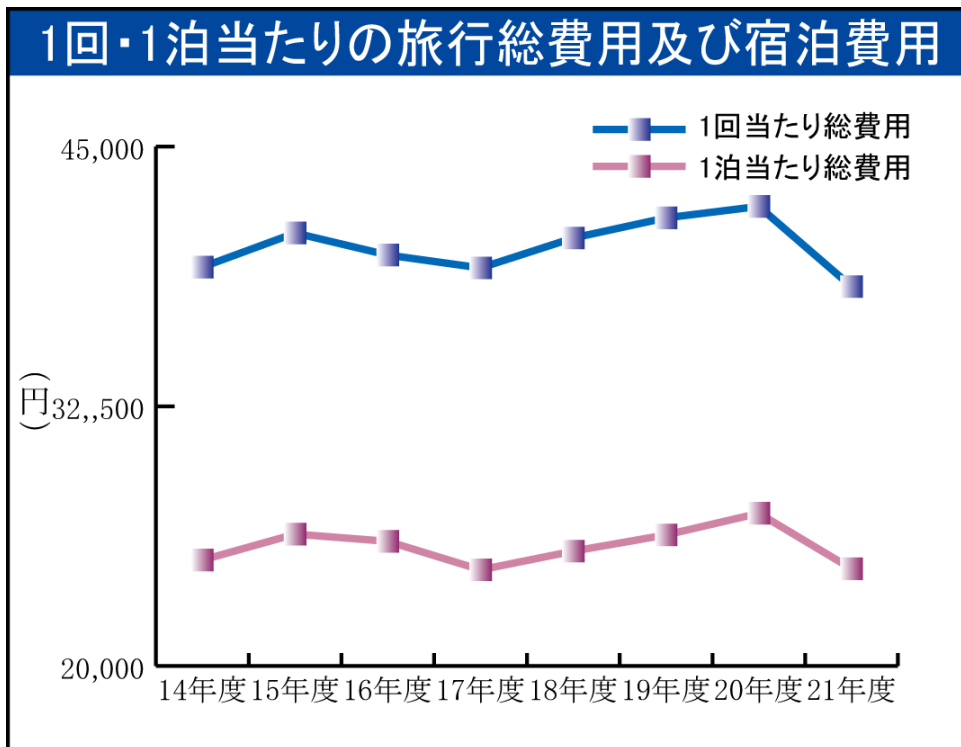


注) 自家用車： レンタカー、タクシー・ハイヤーは含まない
 鉄道： JR、私鉄
 バス： 路線バス、貸切バス

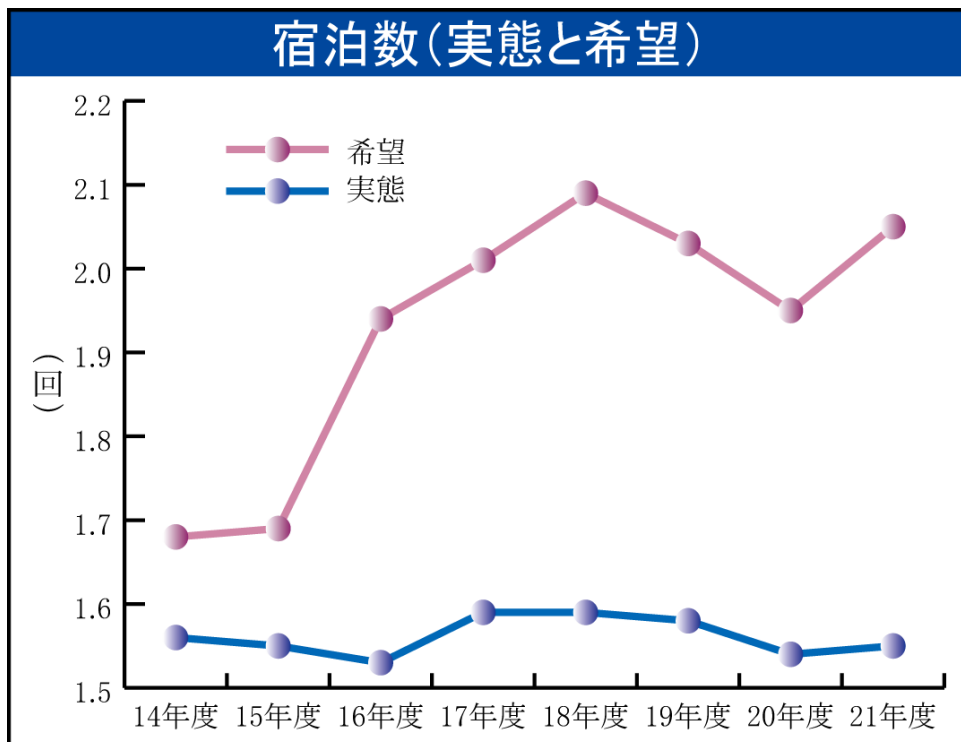
ガソリン価格高騰が続いている中で、自家用車を利用交通機関として選択する人の割合が半数以上の54.9%を占めた。小さな子供連れの家族旅行や、少人数でのグループ旅行ではやはり自由度が高いこと、小回りが利くことが最大の要因と考えられる。そして交通機関別の平均交通費で見た場合も、自家用車は5,850円と割安であるため、前年にもまして圧倒的な割合の調査結果となった。観光の目的別に見ると、自家用車の利用が多いのが、アウトドアレクリエーション、避暑・避寒、スポーツ活動。JRの利用が多いのが、祭り・イベント、自然・名所等の見物・行楽、趣味・学習・見学。貸切バスの利用が多いのが慰安旅行。飛行機の利用が多いのが、自然・名所等の見物・行楽。このように、目的別による交通手段の特徴がみられる。

また、平成21年3月より実施されている、制限付きながらも高速道路料金1,000円の導入により、自家用車での旅行は間違いなく増加している。一方、渋滞の著しい増加や、CO₂排出量増加による環境破壊、鉄道・バス・航空・フェリーなど公共交通機関への打撃等弊害も懸念されるところである。

5. 旅行費用と宿泊数



1人・1回あたりの旅行費用においては、実態が38,260円（-3,950円）と大幅に減少し、また、1泊当たりの旅行費用も減少しており、節約志向がますます進んでいる結果となった。



平均宿泊数の実態においては1.55泊（+0.01泊）とほぼ横ばいになっている反面、希望においては2.05泊（+0.1泊）と比較的に大きく増加し、実態と希望の差が深まる結果となった。

III 日本人の余暇の現状と余暇市場の動向

(「レジャー白書2010」公益財団法人日本生産性本部より)

1. 余暇活動への参加人口

平成20年		
順位	余暇活動種目	万人
1	外食(日常的なものを除く)	7,370
2	国内観光旅行(避暑、避寒、温泉など)	6,020
3	ドライブ	5,140
4	宝くじ	4,560
5	パソコン(ゲーム、趣味、通信など)	4,470
6	カラオケ	4,430
7	ビデオの鑑賞(レンタルを含む)	4,400
8	映画(テレビは除く)	4,140
9	動物園、植物園、水族館、博物館	4,030
10	音楽鑑賞(CD、レコード、テープ、FMなど)	3,960
11	バー、スナック、パブ、飲み屋	3,310
12	テレビゲーム(家庭での)	3,300
13	園芸、庭いじり	3,260
14	トランプ、オセロ、カルタ、花札など	2,910
15	遊園地	2,780
16	ジョギング、マラソン	2,550
17	ピクニック、ハイキング、野外散歩	2,470
18	音楽会、コンサートなど	2,420
19	ボウリング	2,350
20	帰省旅行	2,340

平成21年		
順位	余暇活動種目	万人
1	ドライブ	6,740
2	国内観光旅行(避暑、避寒、温泉など)	6,390
3	外食(日常的なものを除く)	6,370
4	映画(テレビは除く)	5,260
5	音楽鑑賞(CD、レコード、テープ、FMなど)	5,150
6	動物園、植物園、水族館、博物館	5,040
7	ビデオの鑑賞(レンタルを含む)	5,010
8	カラオケ	5,000
9	宝くじ	4,950
10	テレビゲーム(家庭での)	4,720
11	トランプ、オセロ、カルタ、花札など	4,440
12	園芸、庭いじり	4,030
13	ピクニック、ハイキング、野外散歩	3,690
14	音楽会、コンサートなど	3,560
15	バー、スナック、パブ、飲み屋	3,400
16	学習、調べもの	3,390
17	遊園地	3,160
18	写真の制作	3,120
19	催し物、博覧会	3,070
20	体操(器具を使わないもの)	2,950

注1) 平成21年よりインターネット調査に移行。
 注2) 「パソコン(ゲーム、趣味、通信など)」の参加人口は7,950万人だが、インターネット調査の手法との関係を考慮して上位20位から除外した。

『上位3位では、「外食(日常的なものをのぞく)」「ドライブ」「国内観光(避暑、避寒、温泉)」の種目構成に変化はないが、外食が3位、ドライブが1位と順位に逆転が生じている。話題を呼んだ高速料金値下げが追い風となり、「ドライブ」の参加人口も伸びている。(中略)「国内観光旅行(避暑、避寒、温泉)」は順位は不変、参加人口は伸びを示しているが、これは主として前述のドライブや日帰り旅行に関する動きと思われる、宿泊旅行はいぜん苦戦している。』

2. 余暇の市場動向（観光・行楽部門）

IV 観光・行楽	元	2	3	4	5	6	7	8	9
1. 自動車関連	28,350	34,610	35,080	33,920	31,710	31,470	32,750	34,010	32,520
(1) 乗用車	18,450	23,840	23,310	21,640	19,220	18,950	20,270	21,890	20,160
(2) 二輪自動車	570	570	550	500	470	490	500	410	380
(3) ガソリン	5,550	6,220	6,660	6,800	6,870	6,800	6,520	6,390	6,530
(4) 乗用車整備費	3,780	3,980	4,560	4,980	5,150	5,230	5,460	5,320	5,450
2. 国内観光・行楽	71,550	80,160	85,670	84,240	82,770	79,460	78,690	80,140	78,050
(1) 鉄道	12,390	13,300	13,800	13,890	13,900	13,570	14,010	14,440	14,320
(2) 貸切バス	5,110	5,620	5,910	5,950	5,640	4,900	4,710	4,750	4,700
(3) 国内航空	3,000	3,310	3,450	3,710	3,500	3,370	3,690	3,660	3,700
(4) 遊園地・レジャーランド	5,050	5,580	5,900	6,140	5,850	5,670	5,590	5,620	5,420
(5) 旅館	27,760	32,020	35,020	31,550	31,520	30,110	28,310	28,440	26,050
(6) ホテル	8,440	9,330	9,860	10,630	10,120	9,670	9,900	10,140	10,560
(7) ペンション・民宿	2,780	2,960	3,270	3,270	3,310	2,990	2,940	2,770	2,780
(8) 会員制リゾートクラブ	820	1,030	1,290	1,530	1,780	1,860	2,120	2,410	2,460
(9) 旅行業（手数料収入）	6,200	7,010	7,170	7,570	7,150	7,320	7,420	7,910	8,060
3. 海外旅行（国内航空会社の国際線収入）	6,140	6,940	6,500	6,640	5,260	6,320	6,840	7,740	8,210
小計	106,040	121,710	127,250	124,800	119,740	117,250	118,280	121,890	118,780
合計	664,290	729,230	822,650	862,120	868,000	897,770	905,030	909,070	892,520

（単位：億円）（％）

IV 観光・行楽	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21/20
1. 自動車関連	30,970	30,720	32,250	31,440	30,890	29,730	29,170	28,740	28,200	27,350	27,090	24,720	-8.7
(1) 乗用車	19,110	18,750	19,780	18,660	18,640	17,480	16,800	15,940	14,930	14,150	13,460	13,160	-2.2
(2) 二輪自動車	340	320	340	330	340	320	290	290	290	280	210	200	-4.8
(3) ガソリン	6,210	6,460	6,880	7,320	7,170	7,170	7,280	7,710	8,150	8,340	9,010	6,930	-23.1
(4) 乗用車整備費	5,310	5,190	5,250	5,130	4,740	4,760	4,800	4,800	4,830	4,580	4,410	4,430	0.5
2. 国内観光・行楽	74,870	71,780	70,580	70,390	69,040	67,810	67,760	68,570	68,690	69,160	66,530	63,270	-4.9
(1) 鉄道	13,980	13,860	13,670	14,060	13,930	14,060	13,750	13,860	13,580	13,720	13,200	13,200	0.0
(2) 貸切バス	4,690	4,490	4,490	4,210	4,050	4,060	4,190	4,450	4,350	4,300	4,300	4,450	3.5
(3) 国内航空	3,610	3,560	3,720	3,750	3,530	3,620	3,670	3,760	4,150	4,250	4,180	3,770	-9.8
(4) 遊園地・レジャーランド	5,080	4,840	4,730	6,250	6,590	6,570	6,320	6,300	6,480	6,430	6,400	6,230	-2.7
(5) 旅館	24,460	23,240	22,080	21,420	20,710	20,190	19,790	19,700	19,110	18,730	17,610	15,850	-10.0
(6) ホテル	10,210	10,000	10,250	10,160	10,180	10,130	10,230	10,410	10,720	10,930	10,380	9,760	-6.0
(7) ペンション・民宿	2,550	2,340	2,000	1,600	1,240	960	960	970	950	910	840	800	-4.8
(8) 会員制リゾートクラブ	2,600	2,040	2,100	2,000	1,980	2,000	2,150	2,200	2,280	2,640	2,770	2,550	-7.9
(9) 旅行業（手数料収入）	7,690	7,410	7,540	6,940	6,830	6,220	6,700	6,920	7,070	7,250	6,850	6,660	-2.8
3. 海外旅行（国内航空会社の国際線収入）	7,780	7,680	8,410	7,890	8,010	7,320	8,630	9,080	9,770	10,570	10,630	6,410	-39.7
小計	113,620	110,180	111,240	109,720	107,940	104,860	105,560	106,390	106,660	107,080	104,250	94,400	-9.4
合計	870,150	855,540	850,850	826,680	832,290	818,140	812,720	801,220	791,740	745,950	726,860	695,520	-4.3

注）平成19年より、「ペンション」と「民宿」を統合した。

『土日・祝日の高速道路上限料金を1000円とする割引や、平日の全時間帯に3割引を導入するなど、ETCを活用した高速道路料金の引き下げが、平成21年3月以降、順次行われた。特に、いわゆる「1000円高速」は、ドライブ旅行への波及を期待する声が大きかったが、実際は遠方への日帰り旅行の需要を喚起したものの、宿泊旅行への貢献は低かった。人気のある宿泊施設は土日にも集中していつも満席であり、これ以上増えないという声もある。逆に、平日の旅行需要が休日に若干移行した面もあるようだ。休日は混雑するため、高速道路の利用を避けるケースも出てきた。』